



JUN 2ND
4号



電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

★何かを学ぶためには
自分で体験する以上に
いい方法はない

Albert Einstein

益田翔陽高等学校

日本の産業革命と「ああ野麦峠」I

問題: ■外燃機関: 蒸気機関は18世紀のなかばイギリスの(①)は同国の(②)の発明した蒸気機関を改良し、優れた蒸気機関を作った。この蒸気機関の開発によりイギリスに(③)が起こり、以後、人類は(④)燃料を使い続け、排出する(⑤)により(⑥)が進んでいる。

答: ①ワット②ニューコメン③**産業革命**④化石⑤二酸化炭素⑥温暖化

◆上記、先日の3年中間試験「自動車工学」の問題である……

「科目: 自動車工学」は毎年、熱エネルギー利用の歴史から入ることになっている。来年もこの辺りは中間で必ず出すので2年生は要チェックのこと

■中学校の歴史の時間、イギリスで家内制手工業から産業革命に移行したことを学んだ。蒸気機関の発明(1769)が産業革命に導いていったことを学んだ。明治維新(1868)まで約100年前の話である。この間に蒸気機関よりさらに性能の良い内燃機関がルノアール(フランス)によって発明され、ドイツのダイムラーやベンツが19世紀後半には内燃機関搭載の自動車を作っていた。

■さて、日本の産業革命のはじめは何になるのだろうか、明治維新とともに怒涛のようにやってきた西欧の工業技術からだろうか。機械を買うためには金がある外貨がある。そのため、当時の日本政府は生糸を生産・輸出し外貨を獲得した。

■先日、**富岡製糸場**(明治5年1872設立)が世界遺産にふさわしいと認められた。そこで働いていた女工さん達にもいろんな歴史があったのだろう。

学校間連携

◆今年も標題について、西部高等技術校と「機械加工3級」受験指導で連携を取ることにした。受験に挑戦するのは3年生3人。

◆いずれもバスケット部員、総体後の6月9日から放課後や休日に技術校へ通い、指導を受けることになっている。

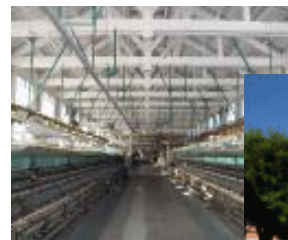
◆3級に挑戦するのは次の生徒。

・ ・ 頑張りましょう ・ ・

柄川 達也くん

齋藤 隆暉くん

瀬丸 雄大くん



『画像提供 富岡市・富岡製糸場』

●参考「ああ野麦峠」: ウィキペディア

(ああのむぎとうげ)とは、山本茂実が1968年に発表したノンフィクション文学。副題は「ある製糸女工哀史」。戦前に飛騨の農家の娘(多くは10代)たちが、野麦峠を越えて諏訪、岡谷の製糸工場へ働きに出た。吹雪の中を危険な峠雪道を越え、**また劣悪な環境の元で命を削りながら、当時の富国強兵の国策において有力な貿易品であった生糸の生産を支えた女性工員たちの姿を伝えた。**山本は10数年におよび飛騨・信州一円を取材し数百人の女工、工場関係者からの聞き取りを行ったという。